

I 三重県消費者物価地域差指数の概要

三重県においては、昭和26年から三重県消費者物価指数を作成しているが、そのままでは地域間の物価水準を比較することができないので、都市相互間の物価差をはかる目的で三重県消費者物価地域差指数を作成している。この指数は、津市の消費生活を基準として比較都市の物価で営んだ場合に、その生活費用は基準都市（津市）に対してどれほどの地域差があるかをみたものである。

1 価格資料

消費者物価指数と同じ5市における小売物価統計調査によって調査された小売価格である。

なお、5市共通の銘柄に統一できない品目は、指数計算から除外した。

2 ウェイト

指数計算に用いるウェイトは、作成年における津市の家計調査の品目別支出金額である。

3 平均価格

都市別価格は、上記価格資料を用いて生鮮食品以外については、1月から12月の単純算術平均により、生鮮食品については各市の月別ウェイトによる加重算術平均により求めている。

4 算式

津市のウェイトによる加重算術平均式を用いた。すなわち、各品目の比較地域価格 P_h 、基準都市（津市）価格 P_o 、基準地域ウェイト W_o とすれば算式は次のように表される。

$$I_h = \frac{\sum \frac{P_h}{P_o} W_o}{\sum W_o}$$

5 調査都市

津市、伊勢市、上野市、鈴鹿市、尾鷲市の5市である。

II 平成5年三重県消費者物価地域差指数の結果のあらまし

1 総合地域差指数（持家の帰属家賃を除く）

調査した5市の地域差指数について、基準都市津市を100とした総合地域差指数をみると、鈴鹿市が101.1で最も高く、次いで上野市が100.4、津市が100.0、伊勢市が97.9、尾鷲市が97.7となっている。

なお、最高の鈴鹿市と最低の尾鷲市との差は3.4ポイントとなっている。

2 10大費目地域差指数について

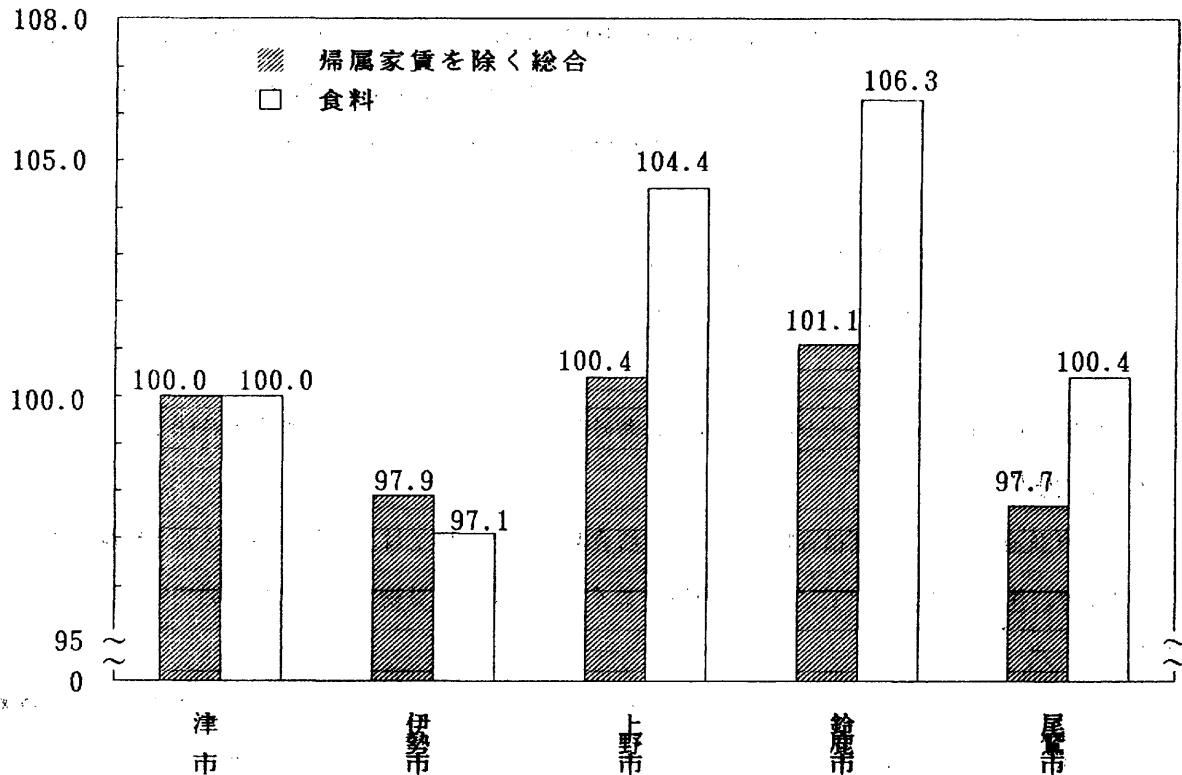
(1) 食料費地域差指数について

鈴鹿市が106.3で最も高く、次いで上野市が104.4、尾鷲市が100.4、津市が100.0となっており、最低の伊勢市が97.1で最高との差は9.2ポイントである。

なお、食料のうち格差の大きい費目は調理食品の33.6ポイント、油脂・調味料の26.7ポイント、肉類の25.0ポイント、野菜・海草の20.3ポイントとなっている。

図1 三重県消費者物価地域差指数（平成5年平均）

津市 = 100



(2) 住居費地域差指数について

伊勢市が 104.9 で最も高く、次いで鈴鹿市が 102.0、上野市が 101.7、津市が 100.0 となっており、最低の尾鷲市が 84.4 で最高との差は 20.5 ポイントである。

(3) 光熱・水道費地域差指数について

上野市が 104.9 で最も高く、次いで伊勢市が 104.3、尾鷲市が 103.8、鈴鹿市が 103.5 となっており、最低の津市が 100.0 で最高との差は 4.9 ポイントである。

(4) 家具・家事用品費地域差指数について

上野市が 105.6 で最も高く、次いで津市が 100.0、伊勢市が 95.8、尾鷲市が 94.7 となっており、最低の鈴鹿市が 93.5 で最高との差は 12.1 ポイントである。

(5) 被服及び履物費地域差指数について

津市が 100.0 で最も高く、次いで鈴鹿市が 94.9、伊勢市が 87.4、尾鷲市が 85.4 となっており、最低の上野市が 85.2 で最高との差は 14.8 ポイントである。

(6) 保健・医療費地域差指数について

上野市が 105.0 で最も高く、次いで鈴鹿市が 101.9、伊勢市が 100.3、尾鷲市が 100.2 となっており、最低の津市が 100.0 で最高との差は 5.0 ポイントである。

(7) 交通・通信費地域差指数について

津市が 100.0 で最も高く、次いで鈴鹿が 99.8、伊勢市が 99.6、上野市が 99.5 となっており、最低の尾鷲市が 98.6 で最高との差は 1.4 ポイントである。

(8) 教育費地域差指数について

尾鷲市が 102.0 で最も高く、次いで津市が 100.0、鈴鹿市が 99.3、伊勢市が 98.5 となっており、最低の上野市が 96.3 で最高との差は 5.7 ポイントである。

(9) 教養娯楽費地域差指数について

津市が 100.0 で最も高く、次いで伊勢市が 99.2、尾鷲市が 98.8、上野市が 98.1 となっており、最低の鈴鹿市が 96.4 で最高との差は 3.6 ポイントである。

(10) 諸雑費地域差指数について

津市が 100.0 で最も高く、次いで尾鷲市が 98.6、伊勢市が 98.1、上野市が 97.7 となっており、最低の鈴鹿市が 97.1 で最高との差は 2.9 ポイントである。

○ 生鮮食品を除く総合地域差指数では、最高が鈴鹿市の 101.1、最低が尾鷲市の 97.3 で、最高と最低との差は 3.8 ポイントである。

○ 全国及び東京都区部と 5 市の比較

総務庁統計局の発表による県庁所在都市の消費者物価地域差指数（全国平均及び東京都区部を基準としたもの）と県調査の結果をもとに全国及び東京都区部と 5 市を比較してみると、次のとおりである。

① 全国平均を基準（100）としたもの

区 分	全国平均	津 市	伊 勢 市	上 野 市	鈴 鹿 市	尾 鷲 市
総 合	100.0	99.2	97.1	99.6	100.3	96.9
食 料	100.0	101.5	98.6	106.0	107.9	102.0
家賃を除く総合	100.0	99.8	97.5	100.2	100.8	97.8

（注）一律内が総務庁統計局の発表による地域差指数

全国平均の地域差指数を 100 として県調査の結果を置き換えてみると、食料費地域差指数では伊勢市が 98.6 と全国を下回っているが、他の 4 市は全国を上回っている。

また、総合地域差指数では鈴鹿市が 100.3 と全国を上回っているが、他の 4 市は全国を下回っている。

② 東京都区部を基準（100）としたもの

区 分	東京都区部	津 市	伊 勢 市	上 野 市	鈴 鹿 市	尾 鷲 市
総 合	100.0	88.8	86.9	89.2	89.8	86.8
食 料	100.0	94.2	91.5	98.3	100.1	94.6
家賃を除く総合	100.0	92.4	90.3	92.8	93.3	90.6

（注）一律内が総務庁統計局の発表による地域差指数

東京都区部の地域差指数を 100 として県調査の結果を置き換えてみると、食料費地域差指数では鈴鹿市が 0.1 ポイント上回っているが、他の 4 市では東京都区部を下回っており、総合地域差指数では全市が東京都区部を下回っている。